

たった今進化した 必殺技を 君に捧ぐよ

2~4人用

約10分

対戦

▶ 2箱あれば8人まで遊べます。



▶ このゲームは

ひらがなが書かれたカードをズラして重ね、その場で新しい必殺技を作るゲームです。

「いちてんえる」に「に」を重ねれば「にてんえる」。

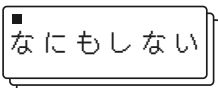
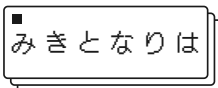
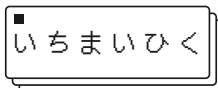
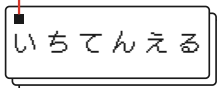
文字を足し、消し、書き換えて、高得点を目指そう！



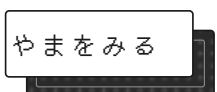
▶ にてんえる

▶ 内容物

■ = 基本カードのしるし



基本カード 16枚(4種類×4セット)



ことばカード
64枚



三角タイル
4枚



得点チップ
付属していません。



説明書
1枚(これ)

準備

まんなか



山札



得点チップ

じぶんの てもと

コマンド

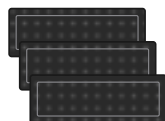
いちてんえる

いちまいひく

みきとなりは

なにもしない

三角タイル



手札 3枚
(裏向き)

スロット
コマンドの中に4つ

- 基本カードを4種類に分け、各自1枚ずつ受け取る。
- 受け取った4枚を、左図のように自分の前に縦一列に並べる。これが「コマンド」で、1枚ずつが「スロット」。
- ことばカード64枚をよく混ぜて、裏向きの山札にする。
- 三角タイルを各自1枚、手元に置く。
- 全員0点からスタート。
- 全員、山札から3枚ずつ手札を配る。手札はほかの人に隠してかまいません。
- 「すばやさ」が高い人からスタート。たとえば、このボドゲ会に先に来た人。以降、時計回り。

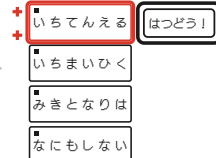
手番の流れ

次の4つを順に行う。①と④は全員が同時に、②と③は1人ずつ順番に行う。

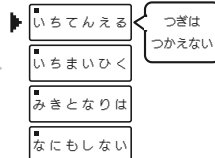
①はる **全員同時**



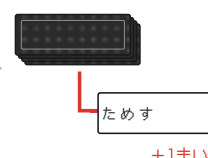
②はつどう **順番に**



③をおく **順番に**



④ひく **全員同時**



+1まい

全員同時に、スロットを1つ選び、手札のカードをそのスロットに好きなだけ重ねる(はらなくてよい)。

スタートプレイヤーから時計回りに1人ずつ、スロットを1つ選び、書かれている技を発動する。

発動したスロットの左に、三角タイルを置く。三角タイルが左にあるスロットは、次の自分の手番では発動できない(同じスロットを2回続けて使えない)。

最後に、全員同時に山札から1枚引く。

▶ カードの重ね方

■ズラして重ねる

技は、スロットに横一列に並んだ文字を、左から右に読みます。カードを横にズラして重ねると、下になったカードの文字が隠れます。どのカードを重ねてもかまいません。

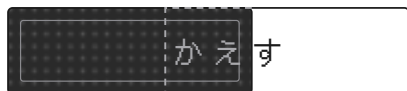


▶ にてんえる

■裏向きにして消す

手札のカードを裏返してかぶせると、その部分の文字を消せます。

慣れてきたら、カードを裏向きで使うのを禁止にすると、難易度が上がって楽しいです。



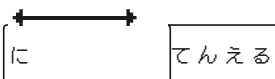
▶ す

うらむきで かぶせる

■はるのは1つのスロットだけ

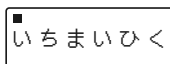
はるときは、スロットを1つ選んで、そのスロットに重ねます。1手番で、手札から何枚でも追加してかまいません。

すでに重ねたカードは、同じスロットの中なら動かしてかまいません。ほかのスロットへ移したり、2つのスロットを組み合わせたりはできません。



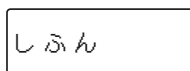
○ おなじスロットの中でずらす

✗ ほかのスロットへうつす

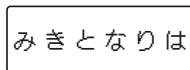


■読みかえ

カードには濁点・半濁点が印刷されていません。読むときに、自由に付けたり外したりしてかまいません。小文字(や ゆ よ)も同じです。



→ じぶん



→ みぎどなりは



自由に変える！

▶ 効果の判定

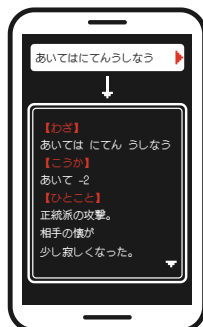
日本語として読めれば、書いてあるとおりに実行します。読めないときは、効果は発動せず「ふはつ」に終わります。

解釈が分かれるとき、ルールに書いていない効果が生まれたときは、ゲームマスター、またはGM代わりのAIに技を見せて判定してもらいます。プレイヤー同士で「アリ／ナシ」を決めることはしません。

得点は0より下がりません。

ここに
QRコード

GM代わりのAIは、このQRコードから使えます。Google
のアカウントだけです。



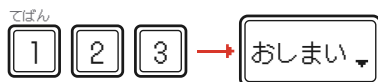
▶ ゲームの終了

次のいずれかでゲームが終わります。

- ・全員が3回ずつ手番を行った。
- ・山札が尽きた。

終了したとき、いちばん点の多い人の勝ちです。

同点のときは、それぞれ「最近勝ったエピソード」を話し、より強かった方の勝ちです。



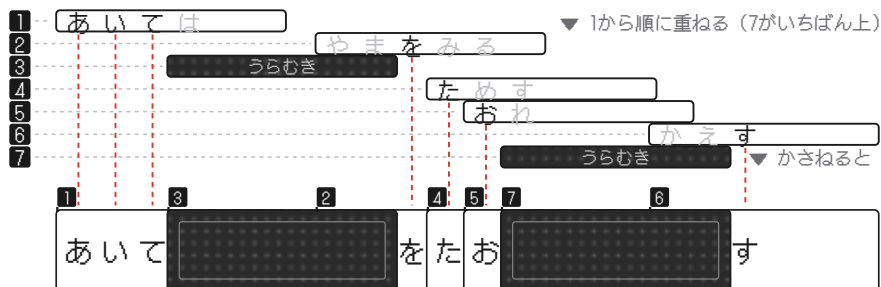
▶ レシビ

■ いちばん簡単な技 [に] + [いちてんえる] → にてんえる

■ いちばん遠い技 あいて／を／た／お／す → あいてをたおす

[あいては] [やまをみる] [ためす] [おれ] [かえす] + [うら] [うら]

こはカード5枚と、裏向きのカード2枚が必要です。「おれ」は80枚の中に1枚しかありません。



この2つのあいだは、自分で見つけてください。 ▼

▶ クレジット

ゲームデザイン ケンチャンヌ & アソビ舎ドラ 協力 RESPAWNの皆様 制作 たのし〜が
影響を受けたボードゲ たった今考えたプロポーズの言葉を君に捧ぐよ